



審査結果報告書

平成 28 年 2 月 4 日

主 査 氏 名 田中克俊 

副 査 氏 名 生地新 

副 査 氏 名 高相勲士 

副 査 氏 名 岩瀬優美 

1. 申請者氏名 : DM06022 宍倉久里江

2. 論文テーマ :
強迫性障害患者に対する心理教育—曝露反応妨害法を用いたセルフケア

3. 論文審査結果 :

強迫性障害 (Obsessive-Compulsive Disorder: OCD) に対する治療として、薬物療法と暴露反応妨害法 (Exposure and Response Prevention: ERP) の併用療法の効果が高いことが示されている。しかしながら、従来型の ERP は非常に多くの時間を要するため一般外来診療の中で実施するのは困難である。こうした問題に対し海外では、患者が自力で ERP に取り組むことを目的としたセルフ ERP プログラムが開発されているが、OCD の病態は多様であり、自力で ERP に取り組むのは容易ではない。そこで申請者は、セルフ ERP の効果を高めるため、心理教育や支持的精神療法を組み合わせた治療プログラムを開発し、外来患者や 214 名を対象にその効果について検討を行った。

研究の結果、セルフ ERP は、従来型の ERP に劣らない効果を示し、特に、初めて OCD の治療を受ける患者で、巻き込み傾向が低く、強迫観念に対する不合理性の認識がある患者においてより高い治療効果があることが示された。

公開審査においては、OCD の疫学や、過去の臨床研究と本研究結果との整合性、薬物治療との関連、心理教育の方法や課題等、幅広い質問が出されたが、申請者は適切に回答を行った。従って論文及び学識とも博士学位授与に相応しいと判断された。